

Ⅷ 用語解説 (五十音順) 本文文章中の文字にアンダーラインがある用語の解説

用語 (掲載ページ)	解説
亜急性期病床 (P21)	急性期(疾病等の症状が重く、処置・投薬・手術などを集中的に行う期間)を経過後、症状が安定し、在宅や介護施設への移転に向けリハビリテーション等を行うための病床をいう。
医業収支比率 (P1・14)	医業活動の収益性を示すもので、100%以上あれば医業自体で利益が発生していることを示すものである。 計算式 医業収益÷医業費用×100
医師事務作業補助 (P3・23・24)	医師が医療行為に専念できるように、医師の事務作業の手助けをする専門員で、診療報酬の算定に加えられる。
NST 委員会 (P18)	医師、看護師、管理栄養士などが、それぞれの知識や技術を出し合い、協力して最良の方法で適切な栄養サポートを実施するための委員会をいう。
エマルゴ法 (P4)	スウェーデンで開発された災害医療机上訓練システムをいう。災害現場、救護所、病院等に見立てたホワイトボードと、被災者、医療従事者、ボランティアなどに見立てたマグネット人形を用いて行う演習をいう。
オーダリングシステム (P10・12)	コンピュータを利用して、医師や看護師が検査や投薬、注射などの指示を入力すると、その内容が電子的に関係部署に伝達されるシステムをいう。
オープンベッド (P21)	かかりつけ医と当院医師とが協力して、患者に対して通院から入院、退院までの一貫した診療を行い、継続的に高度な医療、検査、手術などの医療サービスを提供する専用の病床をいう。(開放型病床)
外来化学療法 (P21)	がん患者に対して、日常生活や社会生活に支障なく治療ができるように、抗がん剤治療を外来で行うことをいう。
加重平均 (P17)	患者の病院に対するご意見を数値化したもので、毎年、入院患者、外来患者を対象にアンケート調査を実施している。 「非常に満足」を+3点、「やや満足」を+1点、「やや不満」を-1点、「非常に不満」に-3点を付け、項目ごとに指標を算出している。なお、平均点は、0.00点となる。
給与費対医業収益 比率 (P2・14)	医業収益に対する職員給与費(給料、手当、賃金、法定福利等)が占める割合で、職員数や給与額等の適正性を図る指標をいう。 計算式 職員給与費÷医業収益×100
クリニカルパス (P17)	疾病別に診療内容や治療の進め方を計画表の形にまとめたもので、医療の質の向上、効率化、医療安全対策などに寄与している。
経常収支比率 (P2・14)	一般会計からの繰入金を含む病院の収益性を示すもので、100%以上であることが望ましい。 計算式 経常収益÷経常費用×100

少額訴訟 (P22)	民事訴訟のうち、60万円以下の金銭の支払いを求める訴えについて、原則1回の審理で紛争解決を図る手続きをいう。
診療報酬明細書 (P9)	27ページの「レセプト」に記載
ソーシャルワーカー (P3・17)	疾病を有する患者が、地域や家庭において自立した生活を送ることができるよう、社会福祉の立場から、患者やご家族の抱える心理的、社会的な問題の解決・調整や退院援助、社会復帰の援助などを行う者をいう。
地域連携パス (P11)	病診連携、病病連携を進めるうえで、疾病等に対し、急性期から回復期まで継続して効率的な治療を行うため、地域の複数の医療機関が共有化した治療内容やスケジュールを表にしたもの。
地方公営企業法の全部適用 (P1・4・10)	地方公共団体が経営する病院事業は、地方公営企業法の財務の規定だけが適用(一部適用)されます。条例を設け、組織や職員の身分等に関する規定についても適用することを全部適用という。
長期前受金 (P15)	平成26年度に減価償却を行う固定資産が、寄付金、国・県補助金、他からの補助金、市からの補助金・負担金により取得したものについて、補助金等の額を収入に計上するものをいう。
電子カルテシステム (P10・12)	医師が診療の経過などを記入していた紙のカルテを電子的なシステムに置き換えて、データベース化し、管理していくシステムをいう。
トリアージ (P4)	災害時の限られた医療資源の状況下で、緊急度と重症度をもとに治療を受ける患者の優先順位を決めることをいう。
7対1看護 (P24)	<p>夜間、休日を含め、平均して入院患者7人に対し看護師1人を配した看護体制をいう。</p> <p>なお、入院基本料は、看護師1人が受け持つ入院患者数に応じ、「15対1」「13対1」「10対1」「7対1」に区分され、看護体制が厚いほど基本料が高くなっている。</p>
認定看護師 専門・認定看護師 (P2・11・19・24)	<p>日本看護協会が、国民への質の高い医療の提供を目的に、資格制度を設けたもので、専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の3つの資格がある。</p> <p>専門看護師は、専門看護師認定審査に合格し、特定の専門分野において、卓越した看護実践能力を有した看護師をいう。</p> <p>認定看護師は、認定看護師認定審査に合格し、特定の分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた看護師をいう。</p> <p>なお、認定審査を受けるためには、特定の看護分野での経験年数と実務研修施設での必要単位又は研修時間等の基準を達成しなければならない。その後、筆記試験などの認定審査を受け、合格者に認定証が交付される。</p>

PDCA (P13)	事業を行うにあたり「計画(Plan)」「実行(Do)」「評価 (Check)」、「改善 (Action)」という行程を継続的に繰り返す仕組みのことで、サービスの質の向上や経営の効率化などに有効であるといわれている。
病診・病病との連携 病診・病病連携 (P3・7・9・21・)	地域の医療機関(病院、診療所)が、多様な疾患の医療を単独で提供するのではなく、お互いに協力し、各医療機関の役割や専門性に基づいて連携を図ることをいう。
バランススコアカード (P4・13)	病院のビジョンと戦略を明確にし、「患者の視点」「財務の視点」「業務プロセスの視点」「学習と成長の視点」の4つの視点毎に目標、業務評価指標、具体的なプログラムを設定し、ビジョンの実現に向けて取り組むためのツールをいう。
ペインクリニック (P4)	神経ブロック療法や薬物療法など様々な方法を用いて、痛みを緩和するための治療をいう。
目的充当済未処分 利益剰余金 (P15)	平成 25 年度以前に収益化したとした場合の、長期前受金の累計額を制度移行時の平成 26 年度に限り計上するものをいう。
リネン管理 (P3・20)	入院患者が使用するシーツ、枕カバー、タオルなどを回収し、クリーニングをした後に補充することをいう。
療養病床 (P12)	長期にわたり療養を必要とする患者を入院させる病床で、精神病床、感染症病床及び結核病床以外の病床をいう。
臨床研修医制度 (P6)	大学を卒業し医師免許取得後に、医師の資質を向上させるための義務的研修で、期間は2年間。従来は、卒業した大学の医局で臨床研修を行っていたが、平成16年度から研修先の病院を医師が自由に選べる、臨床研修医制度が始まった。その影響で、大学医局の医師数が減るとともに、当病院のように医師数が減っているところもある。大都市や臨床件数の多い病院に偏るといふ弊害も指摘されている。
レセプト (P5・9・21)	医療費の一部は、患者が窓口で支払をするが、残りの医療費は、病院が各保険者へ請求することになる。その請求するための明細書をレセプト(診療報酬明細書)という。